



【いのうえ みつこ さん】富丘

●千歳ボランティア通訳クラブ所属。クラブが市と協働で行っている小学校における英語教育事業のリーダー。また、外国人のホームステイ受け入れなど、さまざまな国際交流活動に力を注いでいます。

英語に親しみ積極的に国際交流をしてほしい

# 千

歳は北海道の空の玄関口として、海外からたくさんの方が訪れます。約70人の会員が所属する千歳ボランティア通訳クラブは、各国から訪れる方の通訳案内や千歳に住む外国人の日常生活支援、手紙の翻訳など、各国の方と日本をつなぐ橋渡しとなる活動を行っています。

昨年、千歳で開催されたJ8サミットでは各国の青少年の通訳案内に関わった井上さん。4月からクラブが市と協働で行っている『小学校における英語教育』事業のリーダーとして、英語教育や授業の土台となる計画と教材の作成に力を入れています。

子どものころから英語が大好きで、学校の先生になるのが夢だったそうで

す。今年の3月には通信教育で5年間受講した大学を卒業し、念願の英語の教員免許を取得しました。

現在は市内の小学校で子どもたちに英語の楽しさを伝えていきます。

「まずは英語に親しむこと。ゲームなどを楽しみながら英語を聞き、声に出すことで、子どもたちが意思の疎通をとることを目的にしています」と井上さん。教育実習で得た経験が日々の現場で役立ちます。

事業開始から半年あまりが経過しました。「子どもたちが大きな声で英語のあいさつをするようになりました。また、すでに英語を勉強している子が初めて英語に触れる子を教えてあげるなど、優しさや思いやりも見られるよう

になりました」と子どもたちの成長のようすを話します。

「子どもたちは、初めて触れる英語に対して新鮮なまなざしを向け、話すことや聞くことができるかと素直に喜びます。理解することが『うれしい』、『楽しい』と思う感覚を育てることは、ほかの学校教育にもつながります。そのため、早い時期から英語に親しむことが大切です」と井上さん。

「子どもたちには英語に親しみを持って各国の方とも積極的に交流をしてほしいですし、将来は海外で活躍できる人になってほしいですね」とメッセージを送ります。これからも子どもたちが英語に触れる機会を増やしていきたいと意欲的に目標を語ってくれました。

人のいる風景

SCENERY OF PEOPLE



MITSUKO  
INOUE

井上

美津子 さん